

令和 6 年度 第 2 回富士宮市総合戦略有識者会議 議事録

日 時：令和 6 年 11 月 18 日（月）午前 10 時 00 分～午前 11 時 55 分

場 所：市役所 7 階特大会議室

出席者：

（委 員）：鈴木清秀、赤池英明、伊藤洋子、望月賢司、田中正男、飯室憲一、藁科可奈、
太田美帆、田中心也（欠席なし）

（市）：企画部長、企画戦略課長、地域政策推進室長、企画調整係長、芦澤、市川、遠藤、行政課長、富士山世界遺産課長、広報課長、デジタル推進課長、財政課長、市民生活課長、交通対策室長、市民交流課長、女性が輝くまちづくり推進室長、農業政策課長、食のまち推進室長、観光課長、商工振興課長、環境企画課長、福祉企画課長、こども未来課長、保育支援課長、健康増進課長、学校教育課参事、都市計画課長、建築住宅課長、危機管理局員

次 第：

1 開会

2 挨拶

3 委員及び事務局紹介

4 議事

(1) 令和 7 年度地方創生関連事業について

(2) 富士山 SDGs 人材マッチングについて

※配付資料

【資料 1】

令和 7 年度地方創生関連事業について

【資料 2】

富士山 SDGs 人材マッチングについて

5 閉会

議事（１）令和７年度地方創生関連事業について

【鈴木委員】

- ・空き家対策事業について、補助対象の要件は。

〈企画戦略課長〉

- ・今までは、「除却」のみを補助対象としていたが、令和７年度からは、空き家を活用していくための「改修」も対象とする。金額は１００万円を上限にし、初年度でもあるため、５棟を見込んでいる。補助は、物件の所有者、使用者どちらも対象とする。

〈地域政策推進室長〉

- ・市街化調整区域の空き店舗改修補助についても、改修費用の２分の１、１００万円上限としており、補助金交付までは至っていないが、４件相談を受けており、地域活性化につながるとよい。

【赤池委員】

- ・E-BIKEについて、令和２年に導入してから５年ほど経つが、環境整備や方向性についてどう考えているか。

〈観光課長〉

- ・市でリースしていたものを昨年度レンタルしていた事業所へ残価で売却して、継続実施している。来年度以降についても、観光協会等に協力をいただきながら、進めていきたいと考えている。現状、ショートタイムの利用が減っている。宿泊客がまちなかエリアで借りて、観光地を回るといった利用が増えている。

〈企画戦略課長〉

- ・道路環境の整備については、富士山一周の引き込みルート（田貫湖周辺）の設定を予定している。また来年度、自転車ネットワーク計画を策定し、順次整備していく予定。歩道の草等については、道路整備の中で対応していくよう担当課に伝える。

【伊藤委員】

- ・文化会館のリニューアル工事により、会場が不足しており、会場確保に苦労している。また、基本目標３（１）、（２）の分野において、新規事業がなかなか生まれてこない。基本目標４についても、企業の倒産が増えており、ビジネスコネクトの重要性は高いと思う。現状に即した形でブラッシュアップして、うまく機能するよう関係機関と連携して行ってほしい。

〈企画戦略課長〉

- ・文化会館の工事については、ご迷惑をかけている。令和７年度中は使えないが、公民館など別の公共施設をご利用いただけるようにしている。また、アウトリーチ事業として、市役所や公民館などで展示を行ったりもしており、リニューアルオープンに向けて整理していく。

〈商工振興課長〉

- ・ビジネスコネクトについては、市に情報が入ってくるようになってきている。事業承継のプラットフォームにもつながっているため、今後も積極的にブラッシュアップしていく。

〈企画戦略課長〉

- ・基本目標3の分野の新規事業が生まれてこないということについては、少子化という課題があり、少子化対策本部を立ち上げ全庁的に検討している。新規事業ではないが、新しい取り組みを取り入れている。

【望月委員】

- ・スマート農業推進事業について、具体的な内容は。

〈農業政策課長〉

- ・小規模農家が多く、農業機械購入費の補助、ドローンなどを利用した委託作業に対しての補助を考えている。

【望月委員】

- ・信用金庫の勉強会で、著名な大学教授と話す機会があり、富士宮市のいいところはドローンを飛ばすことができる場所、大学ではなくドローンの施設を誘致したらどうか、と言っていた。

【田中正委員】

- ・防災マップの作成については、市ホームページでも公表するか。幼稚園や小学校で具体的な訓練をするべきだと思う。

〈危機管理局員〉

- ・各公共施設には配布する予定で、各施設で確認していただきどのような避難行動をするべきか考えてもらう。また、市のホームページにも公表していく。

〈企画部長〉

- ・作成後も、市民に見えるかたちで分かりやすく周知していきたい。

【田中正委員】

- ・食のまちづくりについて、知名度やブランド化がうまくいっていないと感じる。スマート農業と絡めて新しいことができればと思う。

〈食のまち推進室長〉

- ・昨年度盛況だったプリンまつりは今年も実施予定。うまく情報発信しながら周知していきたい。ブランド化についても、ニジマス、落花生など発信していきたい。

【飯室委員】

- ・電子契約システムやマイナンバーカード業務における申請書作成システム導入を予定しているが、山間部の高齢者にも利用しやすいものにしてほしい。ユートリオのキャンプ場への改修は、収益があげられるようになることよい。茶園について、杉田などは茶園が多くこの先が不安、その先の支援をお願いしたい。

〈デジタル推進課長〉

- ・電子契約システムについては、立会人型電子契約が可能となる。また、マイナンバーカードを使ってコンビニでは住民票や印鑑証明書が取れるようになっている。マイナンバーカード申請書作成システムは、カードの更新に伴い市役所や出張所へ来庁した際の申請についてマイナンバーカードを提示するだけで申請書記載の手間が省けるシステムのこと。

〈企画部長〉

- ・コンビニ交付については、今後戸籍の交付も考えていく。現在、システムベンダーの開発が追い付いていない状況がある。

〈観光課長〉

- ・ユートリオのプール棟の建て替えとなると多くの費用がかかる。更地にして、芝生とし1,500㎡ほどに8～10区画を整備予定。年間100～150万円の収益を見込んでいる。辺地の賑わい創出や、移住定住にもつなげていきたい。

〈農業政策課長〉

- ・茶葉の低価格化が見られ、手放す人や畑などに転換する人が増加している。

【藁科委員】

- ・防災マップは、ホームページに掲載して終わりではなく、LINEなどで届けてほしい。ユートリオキャンプ場の整備では、市内の野菜や食材をユートリオで調達できるとよい。プリンまつりについてただプリンを食べられるというお祭りということだけでなく、鶏卵産出額2年連続全国1位ということをまず知ってもらいたい。特に小中学生に上手に伝えてほしい。こども誰でも通園制度については、様々な制約がある。国の設定にプラスアルファの支援をすることで、子育て支援に力を注いでいることがアピールできるのではないか。スマート農業については、小規模農家が対象となるのか。直売所への周知など、うまく情報を発信して行ってほしい。

〈危機管理局員〉

- ・防災マップの情報発信については、ホームページをはじめ、データ版として順次公開していく。

〈観光課長〉

- ・ユートリオについては、地域活性化につながるよう、指定管理者と協議しながら進めていきたい。

〈食のまち推進室長〉

- ・たしかに、鶏卵産出額2年連続1位ということが伝わらず、プリンが先立ってしまっているが、メディアへの出し方も検討していきたい。

〈農業政策課長〉

- ・兼業農家についても対象となる。広報の方法を工夫する。

〈保育支援課長〉

- ・こども誰でも通園について、人員の配置や設備も必要となるので、利用状況や他市の状況も見ながら検討していく。

【太田委員】

- ・こども誰でも通園の目的は、令和8年度以降どうなるか。

〈保育支援課〉

- ・こどもが家庭以外の場所で様々な体験をすることで育ちを支えることが目的。来年度は実証として実施し、補助事業や民間事業者への委託事業で実施し、令和8年度以降は、給付

事業となる。

【田中心委員】

- ・林業について、ポテンシャルがあると思う。富士ヒノキのブランド化や、フォレストツーリズムで林業体験ツアーなど実施して新たな観光資源となるのでは。中長期的にそのような考えはあるか。

〈農業政策課長〉

- ・森林整備には力を入れており、中長期的には、富士ひのきの価値を見出そうとしている。森林整備を進め、災害にならないようにと考えている。J-クレジットも含めカーボンニュートラルの面からも、有効だと考えている。

議事（２）富士山 SDGs 人材マッチングについて

【藁科委員】

- ・学童保育での活用も考えられる。夏休みの 1～2 時間でも働き手を探すのが課題となっている。これも、ホームページに載せるだけではなく、見てほしい人に届ける方法を考えたほうがいい。

【伊藤委員】

- ・実際稼働してみて、現実とそぐわない部分があることもあると思う。企業側も利用者側もマナーやルールの勉強が必要だと思う。双方がトラブルなく安全に使えるようにしてほしい。

〈企画戦略課長〉

- ・システム業者も、地域性が重要になると言っていた。周囲の意見を聞きながら SDGs に絡めていければと考えている。

【田中心委員】

- ・企業側からの制約が出てくる可能性がある。経験者優遇など。アプリ内にワーキングプアが溜まってしまふ恐れがある。この地域の中で労働力を循環させていくことが必要であり、支援が必要な人も出てくると思う。

以上